中部 NOW

公益財団法人オイスカ　愛知県支部・中部日本研修センター会報
第332号
令和５年11月号
発行：(公財)オイスカ中部日本研修センター
〒470－0328　豊田市勘八町勘八27－56
TEL　0565－42－1101　FAX　0565－42－1103
E-mail: chubutc@oisca.org　　http: //www.oisca.org/

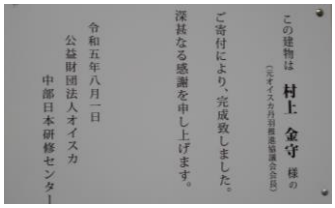
食堂改装と農業用倉庫の完成式

約一年半かけて中部センターの食堂と厨房の改装及び農業用新建屋が完成しました。
これは、4年前に元丹羽推進協議会会長の村上金守さんの奥様から、会長のご遺志を継いで多額のご寄付をいただいたことで可能となった事業です。永く中部センターで活用できるものに使ってほしいと要望をお聞きし、いろいろの案の中で、厨房の改装・食堂の改装と農業用倉庫の新設としました。約一年半かかりましたが、このほど工事が完了し、10月2日村上さんの奥様にもご出席いただき完成式を行いました。

厨房は広くなり食器・食材などの収納がし易くなりました。食堂の床にはソフトシートを貼り、新しい食卓に入れ替えてすっかりきれいになりました。農業用倉庫には、卵の洗卵機を移設し洗卵と仕訳作業がしやすくなりました。また、コメの乾燥機ともみすり機・精米機を収納して、今までセンターから遠く離れた場所でやっていたお米の仕事をセンター内でできるようになり、大変効率的になりました。長年の念願だった改造がほとんど解決し大満足です。これからも大切に活用させていただきます。
(故)村上さんに職員一同感謝申し上げます。　　小杉裕一郎（筆）

起工式

完成した倉庫



ご寄付を記念する銘板

完成式

コラム
第1回オイスカ中部日本の集いを前にして

（公財）オイスカ愛知県支部会長　光岡　保之

「なぜ、開催するのか？」

皆様、こんにちは　今号は「第1回オイスカ中部日本の集い」について、そのねらいと内容についてお知らせします。これまで、愛知県支部としてはコロナ禍で休んだ年もありましたが、各推進協議会持ち回りで「オイスカデー」を開催してきました。

しかし、中部日本研修センターとしては愛知だけでなく静岡、岐阜、三重、長野、富山もそのエリアに支部組織を持っています。このエリア内の皆さんに呼び掛けて会員同士の学びと交流。そして、オイスカの士気の高揚と会員拡大を計るべきと気づき、それを具現化するために「第1回オイスカ中部日本の集い」を開催する運びとなりました。

この気付きを学んだのは、オイスカ本部が2年前から開催してきた国内4研修センターサミットで西日本研修センターや四国研修センターの先進的な取り組みからの学びでした。

「どんな内容か？」

内容については愛知県支部の幹事会の中で議論を重ね、愛知県支部から他県支部へ提案させていただきました。

開催時期は、本年11月26日(日)とし、場所はオイスカ中部日本研修センターとさせていただきました。

第1の取組として、中部の他県支部の取組や他の推進協議会がどんな活動をしているかを学ぶことを目的として中部の他県支部と愛知県内の推進協議会から我が推進協議会の一押し事業について報告をして頂きます。

第2の取組として、昼の時間を活用してランチ交流会をセットしました。これは愛知の各推進協議会が各種の特色ある料理メニューを前日から準備していただき当日提供して頂きます。

第3のとりくみとして、今ロシアの進攻で苦しんでいるウクライナの歌姫ナターシャ・グジーさんに来ていただき素敵なコンサートを披露して頂きます。

いずれにしても、中部エリアの会員が一堂に介して親しく交流する中で他地区の活動を刺激していただき、一層のオイスカの理解と協力と会員拡大につなげることを期待しての楽しいイベントになる事を願っています。

オイスカ名古屋北推進協議会
オイスカ中部研修センター見学研修会

名古屋北推進協議会　副会長　小林由和

令和5年10月19日（木）名古屋北推進協議会、名古屋東推進協議会との合同という形で開催致しました。

参加人数　名古屋北　9 名　名古屋東　5 名

研修室にて、川上参事様、小杉所長様、森名古屋北推協会長の挨拶、簡単な概要説明のあと、中村技能実習担当様より、オイスカの概要や実習生の日々の生活について等、15～20 分ほど、説明を頂きました。筑田副所長からは、農業研修での活動やオイスカの理念について、パワーポイントを使い、15～20 分ほど丁寧に説明を受け施設内の研修生宿泊施設や精米設備を見学の後、食堂で、研修生の皆様と一緒に昼食をとりました。食事の後、車で 10 分ほどの農地を見学させて頂きました。約 2ha の農地は、何か所かに分かれており、夏野菜はほとんど収穫を終えていましたが、冬野菜の準備も進んでいました。この度は、小杉所長はじめ、職員の皆様・研修生の皆様にはたいへんお世話になりました。
ありがとうございました。

子供の森計画親善大使センター訪問

9月20日（水）タイのCFP親善大使の子供達がセンターに来所してくださいました。
親善大使の子供達は約1週間センターを拠点として愛知県の小学校を交流訪問してタイでの植林活動についての発表を行い、またみよし市市長と面会し、タイと日本の交流を深めました。小学校の交流会では、親善大使が発表の後タイの歌と踊りを披露し、日本の小学生達は楽しそうに見学していました。

9歳から12歳の子供が親元を離れ異国に行き、さらに多くの小学生達の前で発表するという事はとてもたいへんな事で頭が下がる思いです。タイの子供達もセンターに来た初日は緊張して表情が硬く感じましたが、研修生達や日本のボランティア会員の皆様との交流を重ねていき表情が柔らかく、子供らしい表情を見せてくれるようになりました。改めて感謝申し上げます。センターとしても他国の子供達と日本の交流に少しでも力になれるよう努力していきたいと思います。　　松岡　篤彦（筆）

ウズベキスタンツアー
Aralda terek egemiz
（アラル海に命を吹き込む）

豊田推協会長　　梅村　清春

ウズベキスタンへのスタディツアーへの参加は4年ぶり7回目。やはり「感動」の嵐。すばらしいメンバーの愛和、ウズベキスタンの相変わらずの親日ぶりと素朴さ・近代化の進展には驚かされました。今年度のツアーは、グリーングラスロッツ主催からオイスカ本部主催 10 か年計画事業の第1回目と言う記念すべきものでした。

アラル海内に6，000本のサクサウールを植林
整地された広大なフィールドにカラカルパクスタン農業大学の学生とともに一本一本手植えをしました。6,000 本の苗木もあっという間に飲み込んでしまう途方もない広大さ。現地は年間降雨量が 100mm～120mm程度の地域ですが、アラル海内は少し掘れば砂が湿っており、サクサウールが根付くことは容易に想像できます。

砂漠は何も生み出しませんが、緑は命を生み出します。これが植樹にこだわる自分の信念です。植樹とは、明日植えること、命を植えること、そして、心にも木を植えることです。私たちの視線の先にあるのは、命とその未来。小さな苗に込める願いが、やがて大切な機能を備えた後世への最大の幸福となることを信じています。

知立バザー

10月15日（日）技能生4人と共に、知立市地域福祉センター様主催のバザーに参加しました。
このバザーは地域の学生やガールスカウト、NPO 法人などが協力して様々なお店を出店していました。また、地域の障害を持った方や子供達も複数参加しており、障害者の方が作った展示品などもあり、技能生達も、「日本の障害者とのかかわり方が素晴らしい」とたいへん勉強になった様子でした。　　松岡　篤彦（筆）

農業ボランティアによるさつま芋の収穫

秋も深まり、さつま芋の収穫がようやく始まりました。
10 月 7 日（土）グローバル・マム・トゥ・マム　8 家族 26 名
10 月 14 日（土）オイスカ豊田推進協議会 20 名、トヨタ自動車部長会 12 名
10 月 20 日（金）鴛鴨オイスカ友の会 15 名
以上の皆様が研修生と交流しながら、収穫のお手伝いをして下さいました。
夏の暑さによる影響で生育にばらつきがあり、小さい物や特大サイズの物もありましたが昨年よりも収量は多いようです。
皆様、ありがとうございました。　　筑田　明生（筆）

農業実習生東京研修旅行

2 年目の農業研修生、フィジーのニコさんとミリさんが東京本部を起点として 8 月 28 日～31 日の 4 日間、研修旅行へ行ってまいりました。
1 日目は鎌倉の大仏と長谷寺を訪れ、オイスカ東京本部では自国の活動報告を行いました。
2 日目はオイスカ首都圏支部の案内で豊洲市場を見学し、都庁の展望台、新宿調理師専門学校の見学、明治神宮の森作りについて教えて頂きました。
3 日目は埼玉県三芳町にある世界農業遺産、三富新田で行われている伝統農法を学びました。
最終日は静岡県登呂遺跡で日本の稲作の歴史について勉強しました。
日本の先端技術や歴史を学び、充実した研修になりました。ご支援ご協力を頂いた皆様、ありがとうございました。　　筑田明生（筆）

伝統農法を学びました

９・１０月研修生の活動

グレゴリー（記）

見学行きました

カブとダイコンのタネをまきました、虫食べないようにネットをはりました。

サニーレタスのうえつけ

白菜のうえつけ

新部屋にひよこを移動しまし

ハウスのかたずけとじゆんび

更新会員名簿（561／874）

安城（57／80）深津貴弘、株式会社南山園、三浦電気 株式会社、碧海信用金庫、立憲民主党愛知県第13区総支部、株式会社 クサカ、中央精機 株式会社、株式会社 玉井設計、万能工業 株式会社、宮川啓子、小久保沙奈美、溝口史朗、明治用水土地改良区、山本 允、株式会社 マキタ

岡崎（19／29）周平懇和会、新海正春、オカザキ製パン 株式会社、羽根渕保博、酒井英二、六ツ美養鶏加工協同組合、小原建設 株式会社、朝日工業株式会社、株式会社 レインボー、あいち三河農業協同組合、中根義高、幸田町長、稲垣建設 有限会社

蒲郡（6／9）有限会社 山本、株式会社 大国屋、飛田常年、蒲郡信用金庫、蒲郡市役所、自由民主党愛知第十四選挙区支部

刈谷（20／35）塚本幸夫、太田宗一郎、刈谷商工会議所、シマツ 株式会社、株式会社 オジマ、鈴木絹男、神谷昌宏、加藤真治、株式会社 えびせんべいの里、角文 株式会社、自由民主党参議院愛知選挙区第五支部、中王食肉株式会社、吉川久喜子、株式会社 サーテックカリヤ、株式会社 三陽製作所、株式会社 小垣江鉄工所、刈谷スプレー工業 有限会社

豊田（176／235）市村直生、川上建材 株式会社、早川 信、株式会社豊田健康生活センター、豊田鉄工 株式会社、高木禎宜、早川内科医院、Roquez Mary Joy Aurelio、鈴木雅博、甲村雅彦、酒井秀夫、株式会社 コスモ、鬼頭工業 株式会社、太啓建設 株式会社、大久保雅弘

名古屋（43／72）山本正美、原田和虎

更新会員名簿

名古屋北（21／31）株式会社 アクアテック、日本ゼネラルフード 株式会社、株式会社 田中装具店
名古屋南（9／19）岩井真里
日進長久手東郷（3／4）穂積商事 株式会社

丹羽（46／62）丹羽ライオンズクラブ、名古屋実業 株式会社、千田 勝隆、朱宮新治、有限会社 光洋企業、協栄産業 株式会社、五藤政尋、株式会社 尾北、キューホールディングス 株式会社、株式会社 酒井建築

西尾（9／33）三周全工業 株式会社、杉浦弘造、株式会社 葵製茶、齋藤保夫、西尾市校長会、株式会社 エムアイシーグループ、西尾信用金庫

半田（18／21）松本佳子

碧南高浜（4／56）竹中造園土木 株式会社

みよし（36／44）酒井孝芳、有限会社出原新聞店

センター（20／40）日本工営都市空間株式会社
（9月末までの入金を掲載）

新入会（個人）

Roquez Mary Joy Aurelio（豊田市）
小久保沙奈美（知立市）
神谷幸輔（名古屋市）
竹内米子（四日市）

新入会（法人）

株式会社 中村自動車（名古屋市）
株式会社 広州管工（豊田市）

インクカーリッジ

安成工業 株式会社（安城市）
ボーイスカウト愛知県第39団（豊田市）

寄付金

竹本和彦（安城市）
松永純一（安城市）
服部俊美（豊田市）
森藤左エ門（名古屋市）
鈴木宏枝（碧南市）
株式会社 伊藤機工商会（小牧市）
松本佳子（知多郡美浜町）
明保澄雄（岡崎市）
オイスカ西尾推進協議会（西尾市）
小杉裕一郎（豊田市）
オイスカ刈谷推進協議会（刈谷市）
オイスカ岡崎推進協議会（岡崎市）
株式会社 遊都（豊田市）
株式会社 For Nature（名古屋市）
小杉ラスマリア（豊田市）
ジョイ（豊田市）
東洋金属 株式会社（丹羽郡扶桑町）
村松明（西尾市）
佐藤鋲弘（豊田市）
竹内精司（名古屋市）
今井英夫（新城市）
安成工業 株式会社（安城市）
オイスカ丹羽推進協議会（丹羽郡扶桑町）
近藤將喬（豊田市）
村上典子（江南市）
浪速金液 株式会社（名古屋市）
オイスカ豊田推進協議会（豊田市）
オイスカ三重推進協議会（三重県四日市市）
ヤスキ建設 株式会社（安城市）
ヤマフ土地（半田市）
神野重行（名古屋市）
三重産業 株式会社（名古屋市）
株式会社 三好製作所（みよし市）
神谷久美子（知立市）
福田香緒里（豊田市）
門池千尋（豊田市）
塩谷泰羊（みよし市）
伊藤安信（みよし市）

寄付金

マクドナルド・ロナルド（豊田市）
あいち三河農業協同組合（岡崎市）
高木禎宜（豊田市）
中村公一（三重県四日市市）
株式会社 サンコー（みよし市）
富田司（常滑市）
佐藤鋲弘（豊田市）

寄付品

株式会社 山信商店（豊田市）
永井博（福岡県）
中野良之（静岡県湖西市）
三宅幸夫（豊田市）
清水孝江（豊田市）
中神千治（豊田市）
後藤里惠子（豊田市）
しんばしや（知立市）
鈴木恭子（知立市）
光岡保之（豊田市）
株式会社 豊田エイタツ（豊田市）
有限会社 タイヨーペイント（春日井市）
吉田畜産（田原市）
中根純子（知立市）
神山忠憲（知立市）
佐藤鋲弘（豊田市）
日本モウルド工業 株式会社（安城市）
トヨタ自動車部長会（豊田市）
トヨタファーム（豊田市）

ベルマーク

株式会社 山信商店（豊田市）
光岡正和（豊田市）

今年のお餅の販売

12月28日（木）までに電話にてお餅の注文承ります。 0565（42）1101

3kg 3，500円

12月28日午後受け取りに来てください